



「エコアくまもと」は、熊本のゆたかな自然の中にある、とても安全な、全国のモデルとなるような施設です

～みんなの生活に役立ち、環境について学べます～



ここが「エコアくまもと」です！



「エコアくまもと」の名前には、こんな意味があります

環境との調和を表す「エコ(ECO)」と、中心を意味する「コア(CORE)」を組み合わせ「エコア(ECORE)」とし、熊本県の環境保全と環境教育の拠点であることを表げんしています。また、エコアの英字表記(ECORE)には、次の意味もふくまれています。Environment Center Of Refuse & Education”=「廃棄物と教育に関する環境拠点」

施設概要

施設種類: 産業廃棄物管理型最終処分場(クローズド・無放流型)
埋立面積: 31,121m² 埋立容積: 423,395m³
総面積 118,679.26m²
浸出水処理施設の処理能力: 60m³/日
工事期間: 平成 25 年 7 月～平成 27 年 10 月

受け入れ廃棄物

- 産業廃棄物
燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物または植物に係る固形状不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、コンクリート破片その他これに類する不要物、ばいじん、政令第2条第13号廃棄物
※これらのうち、石棉含有廃棄物及び自動車等破砕物を含む
- 特別管理産業廃棄物
廃石棉等
- 一般廃棄物
災害廃棄物等

最終処分場とは

廃棄物にはいろいろなものがあります。すべての廃棄物をリサイクルできればいいのですが、それがむずかしいこともありますし、処理のと中でこのりかすが出たりします。これらを埋め立てる施設が最終処分場です。

右の図で分かるように、中間処理施設を通ることで、たくさんの廃棄物の中から最終処分場に運ばれるのは数%ほどになります。

熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場「エコアくまもと」は、ゆたかな自然と調和した、とても安全な、全国のモデルとなる施設です。



廃棄物の流れ

